

西松建設が自己株式取得を決議－格付に下押し圧力加わる、財務構成の回復スピードなどを注視

以下は、西松建設株式会社（証券コード：1820）の自己株式取得および自己株式の公開買付についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

21年9月21日付けで、当社は自己株式を取得することおよびその具体的な取得方法として自己株式の公開買付を行うことを取締役会で決議したと公表した。株式取得価額は最大543億円を予定している。21年6月末の当社の自己資本は2,041億円、自己資本比率は43.3%である。本件が実現した場合には自己資本は約1,500億円となり、自己資本比率は10ポイント程度低下する見通しである。これは従来のJCR想定から乖離したもののだが、当面、堅調な業績が見込まれることおよび本件後も一定の財務構成を維持するとみられることから、本件を以って直ちに格付を下げるものではない。ただし、格付には下押し圧力が加わっており、①短中期的に自己資本の回復や財務構成の改善が進まない場合、②恒常的にキャッシュフロー創出力が低下する場合などには、格付が低下するリスクが一段と高まる。今後、中期的な利益蓄積の蓋然性、株主還元などの資本政策、成長投資の見通しなどを注視していく。

(担当) 窪田 幹也・下田 泰弘

【参考】

発行体：西松建設株式会社

長期発行体格付：A

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果の確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル